

第9回 インフラメンテナンス大賞

インフラメンテナンスで日本の国土を守る



インフラメンテナンス大賞とは

日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に実施するものです。

【写真提供】 山崎エリナ(やまさき・えりな)

写真家 兵庫県神戸市出身。パリを拠点に3年間の写真活動に専念する。40か国以上を旅して撮影を続け、エッセイを執筆、写真集多数出版。2018~2024年は「山崎エリナ写真展 インフラメンテナンス」を北海道、福島、新潟、大阪、東京ビッグサイト(社会インフラテック)など全国各地で開催。橋梁、トンネル、道路のメンテナンス現場を撮影した写真による広報活動は、第3回インフラメンテナンス大賞 優秀賞を受賞。2022年度にはこれまでの取り組みの成果が評価され、土木学会のインフラメンテナンス 特別賞を受賞。土木関連写真集に『インフラメンテナンス~日本列島365日、道路はこうして守られている~』、『Civil Engineers 土木の肖像』、『トンネル誕生』、『鉄に生きる』、『アクアライン~知られざる姿~』、『ローカルゼネコンの素顔』、『東京下水道 設備創造』などがある。現場の技術者たちへのエールを込めて作詞作曲・歌を担当した曲『この空の下で』(ヤマサキエリナ)が世界で音楽配信中。

令和7年7月16日(水) 締切

エントリーはWEBから

インフラメンテナンス大賞

